

島木健作 小説家。共産党から転向後、「生活の探求」が弾圧に進路を見失っていた青年知識層に感動を与えた。

しまきけんさく

日比谷公園・1903 = 札幌市生れ。

日露戦争終・1905 = 2歳：

明治天皇没・1912 = 9歳：

苦学しながら，

原敬首相暗殺1921 = 18歳：

水平社結成・1922 = 19歳：北海中学を卒業。東北帝大法学部の選科に入ったが，

東北学連に加わってその中心人物となり，

円本時代始・1926 = 23歳：学業を捨てて四国に渡り，日農香川県連木田郡支部の書記として農民運動に投じた。

金融恐慌・・・1927 = 24歳：日本共産党に入党。

共産党事件・1928 = 25歳：_最初の普通選挙で奮闘中，三・一五事件に先立って検挙され，控訴審の公判廷で転向を声明。

海軍軍縮条約1930 = 27歳：

満州事変・・・1931 = 28歳：

五一五事件・1932 = 29歳：_仮釈放ののち，

帝人疑獄事件1934 = 31歳：_獄中体験に基づいた「癩」を発表して注目され，

_続く「盲目」等により新進作家としての地歩を固めた。

日中戦争始・1937 = 34歳：*日中戦争の開始(蘆溝橋事件)をはさんで前後に、「再建」「生活の探求」を刊行。前者は発禁となるが，後者の求道的な帰農への志向は当時の青年知識層に広く迎えられた。

第二次大戦始1939 = 36歳：

日米開戦・・・1941 = 38歳：

年金+総武装 1944 = 41歳：_戦争末期には「礎」などで，宗教的な境地への沈潜を求めたが，

敗戦・・・1945 = 42歳：*没した。宿病の肺患の床に小康を得ては書き継がれた「赤蛙」，「黒猫」などの佳品が遺された。